

# ちぬ



対談

浪商学園 理事長

大阪体育大学 学長

野田 賢治 × 原田 宗彦

2020-2021 NEW HIRES

誌面歓迎会 !!

令和2年度事業報告

学園創立100周年の取り組み



NAMISHO  
GAKUEN  
100th Anniversary

対談

## 野田 賢治 × 原田 宗彦

浪商学園 理事長

大阪体育大学 学長

司会／進行  
野田達彦・企画室長

## Interview

大阪体育大学は東京オリンピック開催翌年の1965（昭和40）年、関西で初めて設立された体育大学です。学園創立100周年を迎え、これから大学をどのように創りあげていくのか。これまで大学運営にあたってさまざまな苦勞をされた野田賢治理事長と、生涯スポーツ学科を設立し、「スポーツマネジメント」の分野を確立された原田宗彦新学長に対談していただきました。

—— まず、大学設立の経緯や熊取町移転、新学部、学科設立などから。



**野田** いま振り返ると、高度経済成長という時代の流れに乗ってスムーズに設立できました。東京オリンピックもあり、産業界からも健康、スポーツを柱とした大学教育への強い期待もありました。21世紀に入り、コロナ禍のもとでは生活習慣病の解消などが求められ、体育大学として大きな役割を痛感しています。50年前に体育を建学の精神に掲げたのはすごいことだと思います。どの時代になっても人間が元気であることが大事ですし、開学のときの理念はいまでも生きています。

いままさに生涯スポーツは健康にもつながっていますが、本学の生涯スポーツ学科（1997年設立）が続けられなかったのは残念です。あれはどうして廃止（2006年）されたのでしょうか。

—— 当時、生涯スポーツ学科を立ち上げられたのは原田学長でしたね。

**原田** 大阪体育大学が体育学部体育学科という1学部1学科でしたので、新学科を設けるためにカリキュラム編成をしました。当時の文部省（現文科省）の中に競技スポーツ課と生涯スポーツ課があり、競技スポーツが体育学科であれば、新学科は生涯スポーツ学

科にするのが妥当だということになりました。大阪体育大学の真髄は、競技スポーツの指導者を育てることでしたので、プラスαとして設けました。スポーツトレーナーという仕事も認知されたころです。

体育について、「不易と流行」という視点から言えば、不易が競技スポーツで、流行にあたるのが生涯スポーツということになります。変えてはならないものを大事にしながら、変わらなくてならないものとして生涯スポーツ学科を設けたということです。その後、若手の教員たちによるカリキュラム改革が進み、私が本学を離れることもあって「健康・スポーツマネジメント学科」という名称になりました。

—— 大学の入試状況が厳しくなり、コロナ禍において「ニューノーマル（新しい生活様式）」が求められています。学生たちが充実した学生生活を過ごせるためにどのようなことを考えておられますか。

**原田** 学長に就任して約1カ月、いろいろとデータを見ながら今後の取り組みについて考えていますが、体育学部のカリキュラム改革を中心に内容を豊かにしていくつもりです。まずは安定的な受験生の確保が大事です。受験生が増えると、学生の質が高まりますので、入試の倍率を高めたい。

さきほどの不易と流行でいえば、変えないものをしっかりと維持し、深めながら、変えるべきものについてはアイデアを集め、新しいものを創造していきたい。そのために学長に直結した組織を立ち上げています。

学生にとっては、「ニューノーマル」に対応したカリキュラムも重要です。プロ野球やプロサッカーなどが無観客試合になり、スポーツビジネスが厳しくなっている半面、市民のスポーツ実施率は上がっています。特に中高年のスポーツ実施率が高まっているのが現状です。健康に過ごすために免疫力を高めるなどレジリエンス（回復する力）が

## 「健康で幸福な社会をつくる大学になれるように、人材を育てていきたい」

原田 宗彦 はらだ むねひこ

1977年京都教育大学教育学部を卒業し、79年、筑波大学大学院体育研究科修了、84年、米国ペンシルバニア州立大学健康・体育・レクリエーション学部博士課程修了。88年から大阪体育大学で専任講師。90年から助教授、95年から教授。05年から今年3月まで早稲田大学スポーツ科学学術院教授。また、2013年から14年まで経済産業省スポーツ産業活性化研究会委員長を務め、現在はスポーツ庁・令和3年度「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」委員長など。ジェイスports番組審議会委員、日本バレーボール協会理事。

求められています。健康で幸福な社会をつくる大学になれるように、人材を育てていきたいですね。

大阪体育大学には、大きな強みがあります。日本一になるような競技スポーツだけでなく、レクリエーションなど学童から高齢者まですべての人を幸せにできるカリキュラムが備わっています。よって、アフターコロナの時代に存在意義を高めるような大学にならなくてはなりません。

**野田** 競争率が1.0倍であっても、定員通りに受験生が入学してくればそれでもいい。理想でいえば、そうなんです。

大学入試改革の事例として追手門学院大学(大阪府茨木市)のアサーティブプログラム・アサーティブ入試を知り、すごくおもしろいことをやっているな、と感心しました。高校生を対象にしたオープンキャンパスで、職員が高校生に徹底的にかかわっているのです。大学に入学するにはこうしなければいけない、とか教え、高校生に入学後にこんなことをやりたいと目的意識をもたせているのです。そうすることで、中途退学もなくなり、はっきりと目的をもって入学してくる学生が増えているようです。

いわば、学力試験による「選抜型」から「育成型」への転換した「逆転の発想」なのです。大学で学ぶことの目的に目覚め、学ぶ意欲と姿勢を持った受験生を受け入れるための、まったく新しい入試制度です。追手門学院大学としては、このままでは、近畿の難関私立の関関同立(関西、関西学院、同志社、立命館)、準難関私立の産近甲龍(京都産業、近畿、甲南、龍谷)の下に位置付けられ、なんとかしたいとの思いがあったようです。教職員がものすごく時間をかけて、一人でも二人でも「この大学に来たい」と思うような入学生を掘り起こしています。

受験生が増えれば、学生のレベルがあがるのはその通りなのですが、本学でも「この大学に来たい」という高校生を増やしていただきたい。大阪体育大学では競技スポーツが中心になりますが、いろんなアイデアを出して新しい発想で取り組んでほしい。

大事なのは思い切ってやることです。みんなの意見を聞き、最大公約数でやろうとすれば、スピード感もでないし、とんがったことはできない。理事会としても財政面を踏まえながら大学改革を全面的に支援していきたいと考えています。

—— 高大連携は大きな課題ですね。

**原田** 理事長のお話はとても参考になります。定員100



人でも、素晴らしい100人であればいい。それは理想です。入試倍率が高いほど、質のいい学生がたくさん入ってくる確率は高くなります。偏差値で見るのではなく、大学の理念によって選考すればいい。超進学校のボトム層(底辺)よりも、普通校のトップを採った方がはるかに学生の質が高いことは経験上感じています。仮に高校の偏差値が低くても体育を極めたいという受験生がいれば、そのような学生を取り込んでいくのは重要です。入試のシステムを戦略的に改善することを教職員全体で考えていかなくてはなりません。

兵庫県でこの春、県立芸術文化観光専門職大学(兵庫県豊岡市)が開設しました。学長で劇作家、平田オリザさんにお会いしましたが、1期生の競争率は約9倍でした。受験生に大きな魅力を感じさせています。

また近くにある兵庫県立村岡高等学校の地域アウトドアスポーツ類型のカリキュラムも興味深く、ユニークなスポーツ人材の育成に取り組んでいます。よって、これまでとは違った受験生を呼び込むとともに、従来の学生の教育の質を高めていくことも重要です。

かつて本学に赴任したとき、図書館に大阪産業大学に関する資料がたくさんありました。どうしてなのか、不思議に思いましたが、大学設立当初、大阪産業大学名で申請され、その後、名前を現在の大阪産業大学に譲り、大阪体育大学として発足したことを知りました。産業と体育を結び付けていたのです。80年代から90年代にかけてフィットネス産業が広がり、多くの人材が求められていたのですが、いまでは企業の間で健康経営が語られるようになりました。

本学では、衛生管理者免許という国家資格も取得でき、これは大学にとって強みになりますね。

**野田** そうです。大学設立時に、本学で専攻したら衛生管理者免許を取得できるとあっていました。労働省(現厚生労働省)の政策にも沿っていて、近畿労働局の局長にも講義していただきましたし

## 「体育を通して人間を育てる 建学の精神を通して社会に貢献を」

野田 賢治 のだけんじ

昭和53年学校法人浪商学園に奉職。昭和61年に常務理事、平成15年に理事長就任。平成16年10月より大阪私学経営者協議会(元会長)顧問に就任。平成20年4月より大阪私立中学校高等学校連合会 顧問に就任(元会長)。平成24年4月より文部科学省大学設置・学校法人審議会 学校法人分科会特別委員を務め、26年4月から令和2年まで委員を務める。令和2年8月より大阪私立学校振興協会会長。





た。労働省としても産業と体育についての考えを広げていき  
たかったようで、渡りに舟でした。最近こそ取得者が少ない  
ようですが、これから需要は増えていきますよ。

**原田** ラグビーの選手として企業に就職し、ずいぶん経っ  
てから大阪体育大学で取得した衛管免の資格が重宝がられ  
た、という卒業生がいました。企業でも、資格の必要性を  
知らないところも多い。社員にその資格を取得させようと  
したが、8割くらいが失敗したといった話を聞いたことが  
あります。

コロナ後に企業に就職する際、健康経営でその資格を生  
かすことができますし、カリキュラムの特徴として強調し  
ていきたいですね。

—— 創立100周年を迎え、これからの学園の未来をどのように  
考えておられますか。

**野田** 大阪工業大学がロボット工学を柱にして大阪駅北側  
に新校舎を建てました。多くの企業と連携し、AI(人工知  
能)などの研究の拠点にしようとしています。コロナ禍に  
よってリモート教育が進められていきますが、この先、ス  
ポーツ、体育の大学としてどのように生き残っていくのか、  
考えさせられています。創立100周年、これから100年  
に向けて有識者会議を開いて2年間にわたって議論してきま  
した。社会で活躍している卒業生(浪商1、青凌1、大学  
2)、さらにメディア関係の人などを含めいろんな意見を  
言うていただきました。

そのなかに「60歳から入れる大学をつくってください」  
との意見もあり、おもしろかった。平均寿命が延び、人生  
100年時代になっていきます。大学の現状をみる限り、定  
員を確保するのは苦勞するかもしれませんが、しっかりと  
継続させていかなければなりません。

**原田** いわゆるリカレント教育も大事ですね。私は早稲  
田大学スポーツ科学学術院で「スポーツMBA Essence  
(Sport Master of Business Administration Essence)」の  
コースを立ち上げました。これからのスポーツビジネス界  
を担うためにスポーツマネジメントに関する知識を必要と  
する社会人向けの教育プログラムで、ノン・ディグリーで  
すがとても人気がありました。週1回、半年間という限ら  
れた時間の中で、スポーツビジネスに関連する興味深いト  
ピックを集めたもので、授業料60万円でも約50人の応募

があり、30人を選考しました。

大阪体育大学で同じようにやるにはハードルが高いと思  
いますが、形を変えたやり方があるかもしれません。重要  
なのは潜在的なマーケットを掘り起こしてやることです。

いまオンライン大学院の可能性について関係者に打診し  
ています。これもハードルは高いけれど、コロナ禍で全国の  
社会人向けにカリキュラムを組み、展開していく可能性を  
模索しています。コストがかかり、投資も必要ですが、教え  
る人材はいます。そのためまずはスタジオがほしい。

**野田** 本学は熊取町と連携協定を結んでいます。また青凌  
中高のある島本町の校舎を活用してもいいのではないかな。  
島本町の居住者は比較的裕福な高齢者も多く、学園の  
卒業生もたくさんいます。高槻市にある元青凌中高の跡地  
の利用も考えられます。そのような定年後の人たちへの教  
育プログラムを考えてもいきたいですね。

**原田** いまの若い人たちは「Z世代」(1990年代後半から  
2010年の間に生まれた世代)から次の「α世代(2010年以  
降に生まれた世代)」に変わろうとしています。彼らの心に  
訴求できるものはなにか考えなくてはなりません。それ  
には二つの方法があります。ひとつは、彼らのニーズをしっ  
かりと受け止めること。もうひとつは、彼らが考えもしな  
かったニーズが「ああこれだったんだ」と気づかせること  
です。その両方をやらないといけません。私たちはその  
気づいていないものを気づかせる新しいカリキュラムを  
作ってきたいですね。競合する大学が発想しないような  
ものをつくらないといけません。

—— まとめとして。

**野田** 体育を通して人間を育てるという建学の精神が基本  
です。そのことを通して社会に貢献する。浪商学園は世  
の中になくはないものだとして受け止め、それを継続させ  
ることが社会に貢献することなのです。そのために何が  
できるのか。不易流行のように社会の動きを見ながら、しっ  
かりと取り組んでいきたい。

**原田** 創立100周年に向けて大学としてもビジョン検討委  
員会を設け、11月までにまとめます。その学園の発展に  
向けて大学がリードしていきたい。

「不易」として体育人、指導者をどう育てていくのか、  
FD(教員の研究能力や教育能力や教育システムの開発な  
ど)活動をどうしていくのか、しっかりと注力していきま  
す。大阪体育大学というスポーツエリートが集まっている  
場で、1988年から2005年まで教育に携わりましたが、そ  
こでやりがいを感じ、大学で教える醍醐味を味わいま  
した。教員としての私を育ててくれた大阪体育大学には、感  
謝の言葉しかありませんが、やはり、教員の満足度が高  
くなければ、教育の質も高まらないし、学生の満足度も高  
まらないと思います。これからも、教職員とともに、「流行」  
の部分の強調して、より良い大学をつくるために、懸命に  
取り組んでまいります。

# 浪商学園のあゆみ

- 1921年(大正10年) 大阪市天王寺区に浪華商業実修学校(現浪商学園)創立
- 1923年(大正12年) 大阪市南区に浪華商業学校として移転
- 1926年(大正15年) 大阪市東淀川区に新校舎を建設し移転
- 1947年(昭和22年) 浪商中学校 設立
- 1948年(昭和23年) 浪華商業高等学校 設立。商業科を設置
- 1949年(昭和24年) 浪商附属幼稚園 設立
- 1959年(昭和34年) 浪華商業高等学校を浪商高等学校と改称。普通科を設置
- 1963年(昭和38年) 大阪市東淀川区から茨木市に移転
- 1965年(昭和40年) 大阪体育大学体育学部 設立
- 1966年(昭和41年) 浪商高等学校に体育科を設置
- 1969年(昭和44年) 浪商中学校を大阪体育大学附属中学校と改称し創立(設立)
- 1970年(昭和45年) 大阪体育大学体育専攻科 開設  
(平成4年 大学院体育学研究科に改組)
- 1981年(昭和56年) 大阪体育大学産業体育研究所 設立(現 社会貢献センター)
- 1983年(昭和58年) 浪商高等学校 高槻学舎 開設。普通科を設置
- 1985年(昭和60年) 浪商高等学校 高槻学舎を大阪青凌高等学校と改称  
大阪青凌中学校 設立
- 1987年(昭和62年) 浪商高等学校・大阪体育大学附属中学校  
大阪府泉南郡熊取町に移転  
浪商高等学校を普通科に統一
- 1989年(平成元年) 大阪体育大学 大阪府泉南郡熊取町に移転  
大阪体育大学附属福祉専門学校 設立  
浪商高等学校を大阪体育大学浪商高等学校に改称  
浪商附属幼稚園を大阪体育大学浪商幼稚園と改称
- 1992年(平成4年) 大阪体育大学大学院修士課程(体育学研究科) 開設  
(平成13年 博士前期課程に改称)
- 1997年(平成9年) 大阪体育大学体育学部生涯スポーツ学科 開設
- 2000年(平成12年) 大阪体育大学短期大学部 開学  
(大阪体育大学附属福祉専門学校閉学)
- 2001年(平成13年) 大阪体育大学大学院博士後期課程(スポーツ科学研究科) 開設  
大阪青凌中学校 男女共学化  
大学院体育学研究科をスポーツ科学研究科に改称(スポーツ科学研究科) 開設
- 2003年(平成15年) 大阪体育大学健康福祉学部 開設  
大阪青凌高等学校全コース 男女共学化
- 2006年(平成18年) 大阪体育大学体育学部体育学科、生涯スポーツ学科募集停止  
スポーツ教育学科、健康・スポーツマネジメント学科を新設
- 2011年(平成23年) 大阪体育大学短期大学部 閉学
- 2013年(平成25年) 大阪体育大学浪商幼稚園にイメージクラスを設置
- 2014年(平成26年) 大阪体育大学附属中学校を大阪体育大学浪商中学校と改称
- 2015年(平成27年) 大阪体育大学教育学部教育学科 開設
- 2018年(平成30年) 大阪体育大学健康福祉学部健康福祉学科 閉学  
大阪体育大学 スポーツ局設置
- 2020年(令和元年) 大阪青凌中学校・高等学校 大阪府三島郡島本町へ移転
- 2021年(令和3年) 学校法人浪商学園 創立100周年



浪華商業実修学校(堂ヶ芝仮校舎)



浪華商業学校 淀川仮校舎



淡路校舎正面(昭和初期)



1965(昭和45)年頃学園全景(茨木学舎)



1985(昭和60)年頃学園全景(茨木学舎)



## 学園創立 100 周年記念式典委員会

学園創立100周年記念式典・祝賀会の円滑な開催に向け、昨年末に制作・協力会社を決めるコンペディションを実施いたしました。記念式典・祝賀会にお越しいただいた皆さまに、浪商学園100年の歴史と今後の更なる発展を感じていただけるよう、映像・展示制作などを企画しております。企画内容に関しては式典委員会で詳細な担当を決め、制作会社と連携を図り進めております。コロナ禍の状況により、当初計画より縮小して行われますが、安全、安心を第一に取り組んでまいります。



## 学園創立 100 周年募金委員会

学園の発展に大きく尽力された2代目野田三郎理事長の功績を称え、名前を冠した給付型奨学金を、令和元年に設置いたしました。頂戴したご寄付は、将来性豊かな学生・生徒に対しての資金援助に活用いたします。教職員の皆さまには、すでに各種会議や委員会、メールでもご案内させていただいておりますが、給付型奨学金の継続やさらなる内容充実ができるよう、ご協力をお願い申し上げます。詳しくは募金趣意書または100周年記念サイトをご確認ください。

100周年記念サイト：<https://www.namishogakuen.jp/100th/>

### ～学園創立100周年記念奨学金（野田三郎奨学金）について～

建学の精神を尊び、人材の育成に資することを目的とする奨学金です。

学業成績優秀者やスポーツ成績優秀者、海外語学留学や海外スポーツ留学者、就学困難者など、将来性豊かな学生・生徒に対して資金援助を行います。



## 学園創立 100 周年記念誌委員会

委員の皆さまに、第2次原稿の確認とともに、各年代を振り返る写真データの収集をお願いいたしました。その際、浪商高等学校から、昭和初期の卒業アルバム、教科書、硬式野球部のアルバムが提出されました。これまであまり見ることができなかった、戦前の浪華商業学校時代の学校生活を知ることができる、大変貴重な資料です。また、記念誌と並行し、部会を中心に制作を進めております「野田三郎先生伝記マンガ（仮称）」については、全体の構成、登場人物のキャラクターデザインが制作会社より提出されました。11月の発刊に向け、記念誌、マンガ制作ともに作業は大詰めを迎えております。

### GUIDELINES FOR ACTION

## 組織風土改革プロジェクト

今のメンバーになって2年目を迎えた組織風土改革プロジェクトは、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で、今までのような具体的な活動には至っていませんが、業務改善につながる施策や、職場でのコミュニケーションの場を創出することを検討しています。

また、この期間にプロジェクトでは、学園としての

風土改革の在り方や、皆さんが目標とする具体的な改善内容をお伝えすることについても検討しており、早期に明確な発信を行っていきよういたします。

今後もプロジェクトとして、学園創立100周年を機に新たなビジョンが作成されることと同時に教職員の意識改革を行い、学園の更なる発展につながるような活動を行ってまいります。

## その他の100周年記念事業の取り組み



### 「浪商学園創立100周年記念楽曲」制作

本学園を象徴する作品として学園学曲を制作。大阪青凌中学校・高等学校吹奏楽部第15回定期演奏会で披露されました。当日は関係者のみの参加、ということもあり、広くお知らせすることはできませんでしたが、今後、演奏会の模様をご覧いただく準備が整いましたら、ホームページなどでお知らせいたします。また、記念式典・祝賀会において、披露予定（映像作品等）です。

【作曲者】福島弘和氏

1998年度全日本吹奏楽コンクール課題曲「稲穂の波」、「シンフォニエッタ『祈りの鐘』」、2019年度全日本吹奏楽コンクール課題曲「行進曲『春』」など、数多くの吹奏楽曲を手掛ける。



### 100周年記念バスラッピング、横断幕の設置

浪商学園バスを100周年記念仕様にラッピングしました。また、大阪青凌中学校・高等学校（三島郡島本町）、大阪体育大学浪商幼稚園（茨木市学園町）に広く学園創立100周年を周知するため、横断幕を設置しました。



学園バスを100周年記念仕様にラッピングし、5月10日より運行しています



大阪青凌中学校・高等学校



大阪体育大学浪商幼稚園



### 熊取町町制70周年との連携

熊取町町制70周年と浪商学園100周年を記念し、熊取町より横断幕、のぼりを作成いただきました。

熊取学舎 中央棟に設置

# 1. 令和 2 年度 事業報告書

## 大阪体育大学 (大学院・体育学部・教育学部) URL <https://www.ouhs.jp>

- 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、遠隔授業を実施したほか、対策本部がクラブ、学内での行事など諸活動の可否を詳細に検討し感染拡大の防止を徹底しました。
- 令和2年度入試は、大学の総志願者数は2,869名で、前年度の3,632名に比べ大幅減となりました。大学院の総志願者数は、博士前期課程が27名、博士後期課程は3名でした。
- 教育学部はこれまでの2コースに加え、特別支援教育コース（小学校教育、保健体育教育コースと併せて選択可）を設置しました。コースは従来の入学時ではなく2年次前期の決定とし、入学後の選択の幅を広げました。
- 大学院は、高度専門職業人養成のための「スポーツ科学実践プログラム」開設に向け、設置準備をしました。併せてそれに伴うプログラム用カリキュラムを設定。令和3年度入学の入試を実施しました。

## 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 URL <http://www.ouhs-school.jp>

- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行、文化祭、体育祭などの学校行事、ならびに部活動でも主要な大会はすべて中止になりました。
- 校内では令和3年度の創立100周年に向けて「進学・未来型探究」「スポーツ科学」の2領域、5コース制への改編準備、また1人1台のiPad導入に向けた準備も行いました。
- 卒業生の進路は、大阪体育大学63名、国公立大学3名、関西同立大14名、近年、人気の高い看護医療系には37名が進学。また明治、立教、中央などの関東圏の大学にも6名が進学しました。
- 令和3年度入試では、スポーツ推薦数は過去最高数を記録しましたが、他の専願生、併願生の獲得については課題が残った結果となりました。

## 大阪青凌中学校・高等学校 URL <https://www.osakaseiryu.jp>

- 令和3年度入試では、中学が昨年度に比べてさらに競争率が上がりました。また高校は昨年度より志願者が減少しましたが、特進Sコースの併願者の戻り率が27%と、大幅に上昇しました。
- 令和2年度卒業生の進路は、国公立大30名、関西同立81名、産近甲仏龍309名でした。昨年度に比べ有名私大の合格者が飛躍的に向上しました。特に現役合格者の比率が急増し、全体の現役合格率は94.3%でした。
- 本格的な「探究学習」に取り組んで3年目になります。アクティブラーニングの学習発表会である「クエストカップ」に昨年参加していますが、2年目にして高校2年9組の「チームSTAY HOME」が代表に選ばれ、全国大会に出場しました。
- 第1回目の緊急事態宣言の発出後、2か月間休校を余儀なくされました。その状況において、生徒1人1台のiPadの環境が生徒たちの学習サポートに大きく寄与しました。

## 大阪体育大学浪商幼稚園 URL <https://www.ouhs.jp/kinder>

- 3年保育（標準3クラス、イマージョン1クラス）は123名、2年保育（標準クラス）は6名が入園しました。
- クラス担任の急な休みや産休・育休に対応し、保育の量と質を確保することを目的としたクラスを持たない「アテンド教員」を配置しました。保育補助のほか、事務業務にも携わりました。
- 全12クラス体制となるため、保育室の改修工事や備品設置など、安心して保育が行える環境を整えました。

## 学校法人 浪商学園 法人本部 URL <https://www.namishogakuen.jp>

- 「事務職員新人事制度」の整備に向け、事務職員に対する評価基準の明確化とモチベーションにつながる制度設計を行い、複数回の説明会を経て令和3年度より改定されます。
- 新型コロナウイルス感染症対策に向け、学園の危機対策本部を通じて、継続的な注意喚起や在宅勤務・時差出勤の取り組みを行いました。また、日々変化する課題に対し、学生、生徒、園児への教育環境のサービス低下を起こさないため、設置校支援を積極的に行ないました。
- 学園創立100周年将来ビジョンを策定に取り組みました。また、新ビジョンの策定に合わせて、これまでの中期経営計画の見直しも行うことが決まり、令和4年度よりすべての設置校が5年間の目標を明確にした計画書を作成します。



# 2. 令和2年度 決算の概要

## 令和2年度 資金収支計算書

収入の部 (単位:千円)

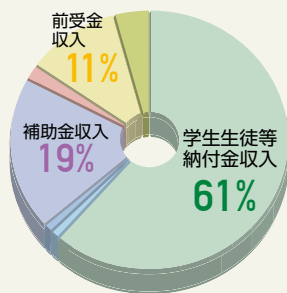
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,660,740	4,652,183	8,557
手数料収入	82,520	83,343	▲823
寄付金収入	87,080	87,635	▲555
補助金収入	1,420,750	1,453,462	▲32,712
（国庫補助金収入）	454,710	454,446	264
（府県補助金収入）	966,040	999,015	▲32,975
資産売却収入	0	66	▲66
付随事業・収益事業収入	20,830	29,868	▲9,038
受取利息・配当金収入	2,710	2,727	▲17
雑収入	189,630	185,765	3,865
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	832,430	855,947	▲23,517
その他の収入	280,530	285,710	▲5,180
資金収入調整勘定	▲1,099,860	▲1,201,442	101,582
前年度繰越支払資金	1,987,340	1,987,344	
<b>収入の部合計</b>	<b>8,464,700</b>	<b>8,422,606</b>	<b>42,094</b>

支出の部 (単位:千円)

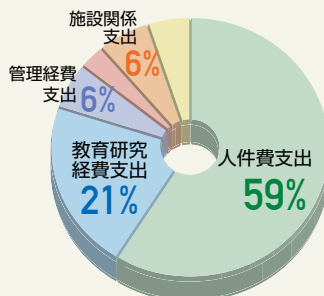
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,689,970	3,684,582	5,388
教育研究経費支出	1,539,010	1,331,529	207,480
管理経費支出	454,900	371,536	83,364
借入金等利息支出	15,090	15,086	4
借入金等返済支出	199,000	199,000	0
施設関係支出	394,740	368,095	26,645
設備関係支出	300,275	299,822	453
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	350,770	348,818	1,952
予備費	81,205		81,205
資金支出調整勘定	▲319,570	▲520,929	201,359
翌年度繰越支払資金	1,759,310	2,325,066	▲565,756
<b>支出の部合計</b>	<b>8,464,700</b>	<b>8,422,606</b>	<b>42,094</b>

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります  
※( )の科目は内数です

- 学生生徒等納付金収入
- 手数料収入
- 寄付金収入
- 補助金収入
- 資産売却収入
- 付随事業・収益事業収入
- 受取利息・配当金収入
- 雑収入
- 借入金等収入
- 前受金収入
- その他の収入



- 人件費支出
- 教育研究経費支出
- 管理経費支出
- 借入金等利息支出
- 借入金等返済支出
- 施設関係支出
- 設備関係支出



## 令和2年度 事業活動収支計算書

(単位:千円)

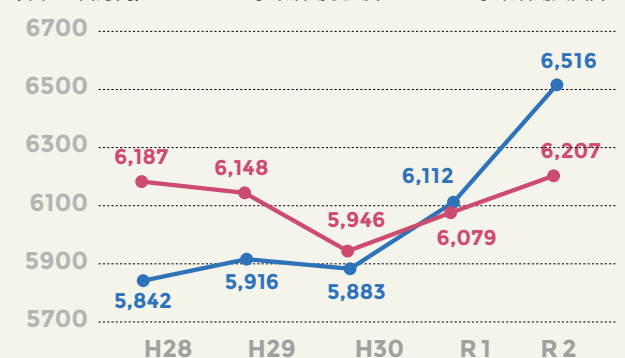
科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金	4,660,740	4,652,183	8,557
手数料	82,520	83,343	▲823
寄付金	87,990	89,113	▲1,123
経常費等補助金	1,349,470	1,382,290	▲32,820
付随事業収入	20,830	29,868	▲9,038
雑収入	232,890	188,161	44,729
<b>収入計</b>	<b>6,434,440</b>	<b>6,424,958</b>	<b>9,482</b>
支出の部			
人件費	3,648,490	3,602,610	45,880
教育研究経費	2,331,550	2,129,156	202,394
（減価償却額）	792,420	796,149	▲3,729
管理経費	537,200	453,808	83,392
（減価償却額）	82,300	82,272	28
徴収不能額等	2,585	2,465	120
<b>支出計</b>	<b>6,519,825</b>	<b>6,188,038</b>	<b>331,787</b>
<b>収支差額</b>	<b>▲85,385</b>	<b>236,920</b>	<b>▲322,305</b>
教育活動外収入			
受取利息・配当金	2,710	2,727	▲17
その他の教育活動外収入計	2,710	2,727	▲17
支出			
借入金等利息	15,090	15,086	4
教育活動外支出計	15,090	15,086	4
<b>収支差額</b>	<b>▲12,380</b>	<b>▲12,360</b>	<b>▲20</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>▲97,765</b>	<b>224,560</b>	<b>▲322,325</b>
特別収入			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	77,860	88,521	▲10,661
その他の特別収入計	77,860	88,521	▲10,661
支出			
資産処分差額	4,751	4,367	384
その他の特別支出	0	0	0
教育活動外支出計	4,751	4,367	384
<b>収支差額</b>	<b>73,109</b>	<b>84,154</b>	<b>▲11,045</b>
予備費	181,894	0	181,894
基本金組入前当年度収支差額	▲206,550	308,714	▲515,264
基本金組入額合計	▲966,230	▲773,679	▲192,551
当年度収支差額	▲1,172,780	▲464,965	▲707,815
前年度繰越収支差額	▲14,302,830	▲14,302,834	4
翌年度繰越収支差額	▲15,475,610	▲14,767,799	▲707,811

参考 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	6,515,010	6,516,206	▲1,196
事業活動支出計	6,539,666	6,207,491	332,175

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります  
※( )の科目は内数です

(単位:百万円) 事業活動収入計 事業活動支出計



### 資金収支の推移

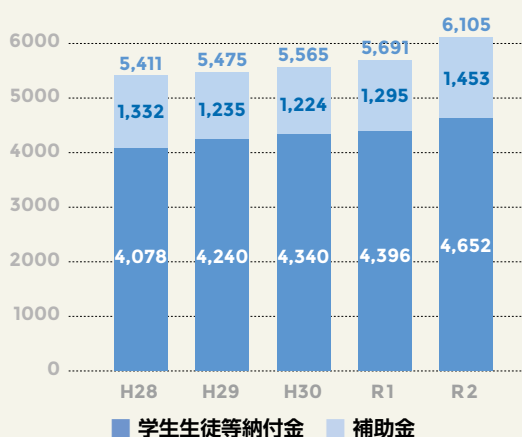
(単位:千円)

収入の部	科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	学生生徒等納付金	4,078,193	4,240,008	4,340,480	4,396,329	4,652,183
手数料	114,769	109,991	105,067	99,848	83,343	
寄付金	34,378	33,240	30,752	39,845	87,635	
補助金	1,332,327	1,234,650	1,224,497	1,294,973	1,453,462	
資産売却	528,582	52,485	2,536	506,450	66	
付随事業・収益事業	26,195	41,837	71,736	50,396	29,868	
受取利息・配当金	12,084	12,081	12,076	16,548	2,727	
雑収入	195,746	229,019	87,666	198,652	185,765	
借入金等	0	2,000,000	2,045,000	555,000	0	
前受金	1,018,913	905,013	909,566	936,974	855,947	
その他の収入	140,433	203,713	179,886	216,770	285,710	
資金収入調整勘定	▲1,156,644	▲1,181,209	▲1,013,064	▲990,231	▲1,201,442	
前年度繰越支払資金	1,742,355	1,920,031	1,629,834	2,454,281	1,987,344	
収入の部合計	8,067,330	9,800,859	9,626,031	9,775,836	8,422,606	
支出の部	科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	人件費	3,568,823	3,582,464	3,376,898	3,481,403	3,684,582
教育研究経費	1,258,755	1,262,812	1,266,513	1,264,892	1,331,529	
管理経費	418,242	443,114	458,639	446,261	371,536	
借入金等利息	0	2,932	5,058	15,864	15,086	
借入金等返済	0	125,000	150,000	650,000	199,000	
施設関係	596,934	2,542,612	1,445,539	1,512,669	368,095	
設備関係	320,167	274,234	288,607	306,848	299,822	
資産運用	0	0	0	0	0	
その他の支出	425,079	479,016	565,121	418,619	348,818	
資金支出調整勘定	▲440,700	▲541,159	▲384,626	▲308,063	▲520,929	
翌年度繰越支払資金	1,920,031	1,629,834	2,454,281	1,987,344	2,325,066	
支出の部合計	8,067,330	9,800,859	9,626,031	9,775,836	8,422,606	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

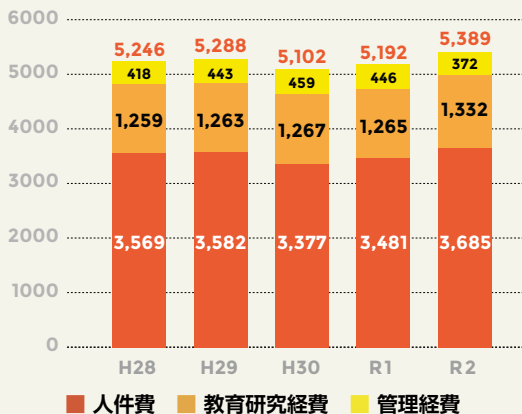
### 学生生徒納付金 + 補助金の推移

(単位:百万円)



### 人件費・教研費・管理経費の推移

(単位:百万円)



### 学生・生徒・園児数・入学者数・入園者数の推移

#### 入学者・入園者数の推移

学校名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
大阪体育大学	大学院	29	24	30	19	31
	体育学部	524	571	548	554	583
	教育学部	137	167	150	136	145
浪商高等学校	255	233	254	213	256	
浪商中学校	37	37	36	21	38	
大阪青凌高等学校	241	263	297	378	362	
大阪青凌中学校	17	15	20	15	35	
浪商幼稚園	99	91	117	121	125	
合計	1,339	1,401	1,452	1,457	1,575	

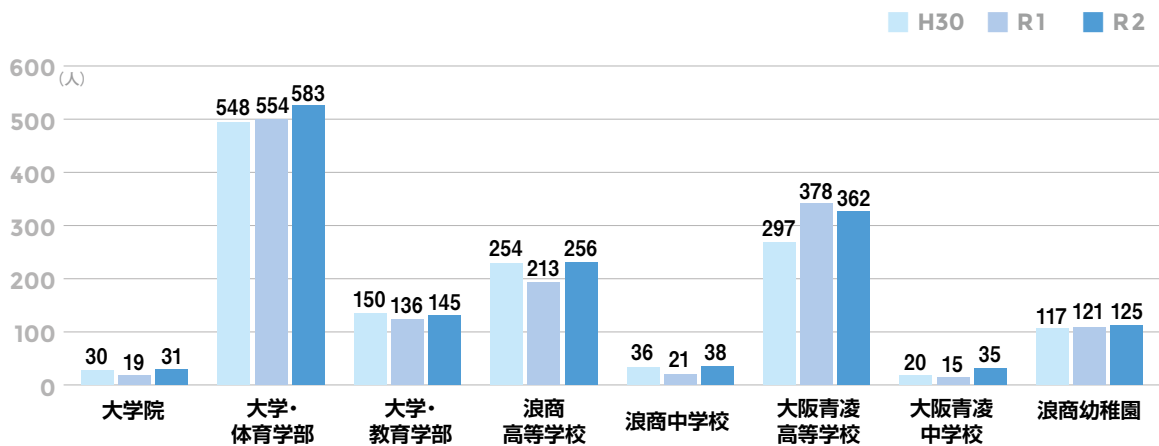
※各年度5月1日現在の人数

#### 学生・生徒・園児数の推移

学校名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
大阪体育大学	大学院	収容定員	66	66	66	66	66
		在学者数	66	66	71	66	60
	体育学部	収容定員	1,920	1,960	2,000	2,040	2,080
		在学者数	2,077	2,128	2,179	2,202	2,255
	健康福祉学部 <small>※平成30年度募集停止</small>	収容定員	240	120			
		在学者数	268	137			
教育学部	収容定員	250	375	500	500	500	
	在学者数	265	428	573	593	602	
浪商高等学校	募集定員	945	945	945	945	945	
	在学者数	767	754	712	676	699	
浪商中学校	募集定員	240	240	240	240	240	
	在学者数	109	109	110	95	95	
大阪青凌高等学校	募集定員	960	960	960	960	960	
	在学者数	737	746	795	918	1,012	
大阪青凌中学校	募集定員	240	240	240	240	240	
	在学者数	62	57	53	50	73	
浪商幼稚園	収容定員	350	350	360	360	360	
	在学者数	298	303	321	326	356	
合計		4,649	4,728	4,814	4,926	5,152	

※各年度5月1日現在の人数

## 各設置校の直近3年間の入学者・入園者数



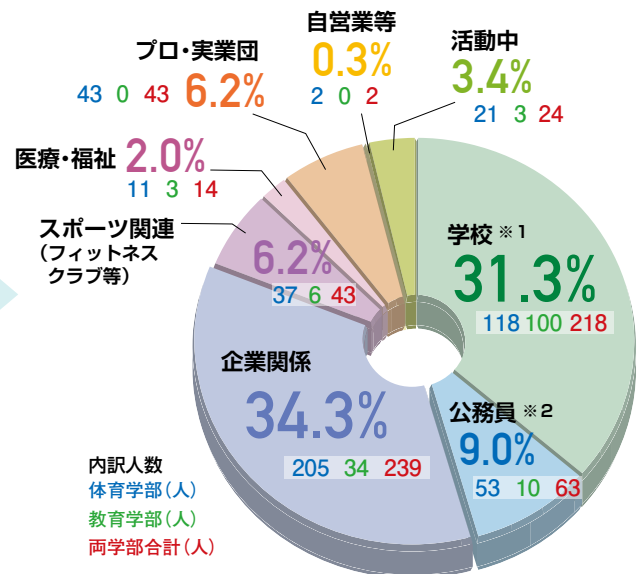
## 令和2年度 卒業生 進路状況等 (9月卒業生含む)

### 大阪体育大学

項目	体育学部	教育学部	両学部
令和2年度 卒業生	535	162	697
就職希望者(進学・その他を除く)	490	156	646
就職者(アルバイト・活動中・進学・その他を除く)	469	153	622
就職率(令和2年度)	95.7%	98.1%	96.3%

令和3年5月11日現在

- ※1 令和2年度の教員(現役専任)合格者数は延べ56名です。  
 ※2 令和2年度の公務員(教員除く)合格者数は延べ86名です。



## 令和2年度 大学入試 合格実績 (浪人生含む)

### 大阪体育大学浪商高等学校

学部名	人数
体育学部	49
教育学部	14

学校名	人数
大阪府立大学	1
和歌山大学	1
香川大学	1

学校名	人数
明治大学	1
中央大学	2
創価大学	1
立教大学	1
明星大学	1

学校名	人数	学校名	人数
関西大学	14	大阪経済大学	2
立命館大学	1	京都芸術大学	2
京都産業大学	3	阪南大学	6
近畿大学	9	四天王寺大学	17
龍谷大学	2	大阪芸術大学	4
摂南大学	2	関西医療大学	5
神戸学院大学	2	大和大学	7
追手門学院大学	5	畿央大学	1
桃山学院大学	8	森ノ宮医療大学	1
桃山学院教育大学	2	宝塚医療大学	1
関西外国語大学	2	大阪物療大学	1
京都橘大学	1		

### 大阪青凌高等学校

学校名	人数	学校名	人数
大阪府立大学	2	奈良教育大学	1
京都工芸繊維大学	1	岡山県立大学	1
新潟大学	1	公立諏訪東京理科大学	1
富山大学	1	公立鳥取環境大学	1
兵庫県立大学	5	広島市立大学	1
奈良県立大学	3	高知工科大学	1
滋賀県立大学	2	北九州市立大学	1
神戸市看護大学	1	長崎県立大学	1
島根大学	1	他	4
長野大学	1		

学校名	人数
関西大学	36
関西学院大学	5
同志社大学	10
立命館大学	30

学校名	人数
京都産業大学	59
近畿大学	82
佛光大学	93
龍谷大学	74

令和3年度がスタートし、いよいよ浪商学園100周年の記念の年を迎えました。通常であればお祝いムード一色となるはずでしたが、昨年より続くコロナ禍の中で依然として緊迫した社会情勢であります。

そのような情勢でありますので、昨年度と今年度は歓送迎会を行うことができておりませんでした。そこで今号では昨年度と今年度に入職された皆さまを紙面歓送迎会という形でご紹介させていただいております。

次年度は対面での歓送迎会を行うことが可能な情勢になっている事を切に願い、編集後記とさせていただきます。

[企画室長 野田達彦]

